



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2018年4月30日号



5月12日（土）から、本館2階の「森林のジオラマ」にて、期間限定（～7月1日〔日〕）でホタルの光を模したLEDイルミネーションを点灯します！

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/25906>



「野比海岸の断層ガウジ」

横須賀市千駄ヶ崎の西方、県道212号久里浜港線沿いの野比海岸では、活断層である北武断層と、新第三紀の地層が観察できることを「野比海岸の地質：活断層と新第三紀の地層」で述べました。今回は活断層付近で見られる柔らかい断層ガウジについてご紹介しましょう。

野比海岸で見られる地層は中新統葉山層群と中新—鮮新統三浦層群逗子層で、それらの地層の境界が活断層である北武断層の破碎帯となっています。破碎帯は野比海岸で約160mもの幅があります。破碎帯には玄武岩や蛇紋岩（かんらん岩）、白色石灰質チャート、暗緑色凝灰岩などのブロックや転石が見られ、緑灰色、灰色、赤褐色などの断層ガウジによって取り囲まれています。断層ガウジとは、断層の運動によって岩石が粉碎され、粘土のように細くなったものをいいます。

この場所の断層ガウジ4点を採集し、X線を照射して岩石を構成する鉱物を特定するX線回折を行いました。その結果、にぶい赤褐色とオリーブ灰色の断層ガウジは主に石英からなり、斜長石とスメクタイト、方沸石を含むことがわかりました。一方、灰色と緑灰色の断層ガウジはそれぞれ石英と蛇紋石からなることがわかりました。スメクタイトや方沸石を含む断層ガウジは北武断層破碎帯に含まれる暗緑色凝灰岩由来、蛇紋石からなる断層ガウジは蛇紋岩由来と考えられます。石英からなる灰色の断層ガウジの由来はよくわかりませんが、周辺の逗子層または葉山層群由来かもしれません。一般的に蛇紋岩地帯は多くの地すべりが発生していて、蛇紋岩体に隣り合って形成されたスメクタイトなどが地すべりの原因

になりやすいと考えられています。2017年2月23日に野比海岸の県道212号久里浜港線で陥没が起きましたが、この陥没はやわらかい断層ガウジが分布する場所で発生しました。2月23日には北武断層が活動した証拠や、関東地方を震源とする地震の記録はありませんが、三浦半島には波浪警報が発令されていました。波浪によって斜面の擁壁がくずれ、その結果断層ガウジが地すべりを起こし、道路が陥没したのかもしれません。(地球科学担当 柴田)

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/25920>

◆展示情報◆

企画展示「横須賀のはじまり—よみがえる古代人のくらし—」

2018年6月17日(日)まで

市内を中心とする各遺跡から出土した旧石器時代から古代までの遺物をとおして、横須賀の歴史のはじまりについて紹介します。30,000年以上前とされる横須賀最古の石器をはじめ、夏島式土器や東海地方からもたらされた青銅器、古墳から出土した武具や装身具、古代の瓦などを展示します。

みどころ

【三浦半島最古の石器】

三万年以上前とされる三浦半島最古の狩人が使った長野県産黒曜石製の石器

【日本最古級の土杭(落とし穴)断面剥ぎ取り】

約三万年前の狩人たちが掘った深さ約1.5mにも達する落とし穴とみられる土杭の貴重な断面剥ぎ取りを展示

【さわって当てよう!何時代の土器?】

さまざまな時代の土器片に直接触れて、何の時代の土器かを当てるコーナーを設置

【難破した古代船?】

古代船の部材を転用したと考えられる井戸枠を展示

【関連行事】

展示解説 6月3日(日) 13:30~15:00 本館特別展示室 参加自由

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/25320>

トピックス展示「アンモナイトコレクション」

2018年7月1日（日）まで

古生代から中生代の海に栄え、イカやタコの親戚であるアンモナイト。博物館所蔵のアンモナイト化石のうち、厳選した化石約40点を展示します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/25842>

トピックス展示「何につかったの？—不思議な形の土器たち—」

2018年6月10日（日）まで

古代につくられた土器のなかには、現代人の私たちには何に使ったのかわからないものが数多くあります。不思議な形の土器について、古代人の気持ちになって考えてみましょう。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/25258>

◆イベント情報 ◆

博物館教室「基礎から学ぼう昆虫学」

2018年5月27日（日）ほか全4回

事前申込制。いろいろな昆虫の解説と観察，昆虫標本の作り方，観音崎公園や中央公園での昆虫さがし，セミのぬけがらがしがしなどを通じて，昆虫を観察するいろいろな方法を勉強しましょう。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25354>

博物館教室「植物標本のつくりかた」

2018年6月9日（土）ほか全2回

事前申込制。押し花・押し葉作品とは違う、博物館におさめられているような「植物標本」を作ってみましょう。作った標本は持ち帰れます。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25355>

自然観察会「ホタルの観察」(1)(2)

2018年6月9日（土）、6月16日（土）

事前申込制。馬堀自然教育園が整備・保全している水辺環境を、ゲンジボタルやヘイケボタルの観察を通じて体験します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25364>

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25365>

自然観察会「ウミウシの観察」

2018年6月16日（土）

事前申込制。鮮やかな体色と、さまざまな姿・形から「海の宝石」といわれる貝のなかまウミウシ類を中心に、初夏の天神島でくらす磯の生き物たちを観察します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25366>

天神島ガイドツアー（5月）

2018年5月27日（日）

申込不要。天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25393>

発行：横須賀市自然・人文博物館

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>